

第16回 定期大会の圧倒的成功を

職場の意見が 大会に反映させよう

動労千葉は十月八・九の両日、野栄町のさか望洋荘において、第十六回定期大会を開催します。今大会は、七十九年動労本部から分離独立を勝ちとってからちょうど十年目にあたり、また来年三月には、期限切れとなる清算事業団をめぐる情勢の切迫化ということもあり名実共に、動労千葉にとって重要な大会となっています。支部におかれましては、救済命令・団体署名で東奔西走で多忙のこととは思いますが、

職場集会職場討議を重ねる中で職場の意見を集約し、また分科におかれましても早急に要求等を出し合う中で、大会に参加されるよう強く要請します。こうした職場生産点での要求・意見を大会に反映させることこそが、大会の成功につながり、ひいては組織と運動に生命と活気を与えることとなります。

国鉄・JR当局・JR総連革マルら敵側陣営も今大会の動向に「注目」しています。一人でも多くの組合員が大会に参加し、「注目」に値するだけの大会にしたいこうではありませんか。今大会で勝ちとるべき最大の課題は、来年三月期限切れという新たな解雇攻撃を七ヶ月後にひかえ、十二名の清算事業団の仲間の首切り撤回・原職奪還へむけて清算事業団闘争勝利のために闘うことです。開始された団体署名運動を推進し、いつでも、どこからでもストライキに突入できる組織と体制の確立・強化を

「団体署名」最後までやりきろう

清算事業団闘争の重要な一環として取り組んでいる「団体署名」活動は全支部の大奮闘により、県内外から続々と署名が寄せられている。

各労組を訪問し、趣旨を説明し、事業団闘争への決意を述べると、ほとんどの労組で「大変ですね」「がんばって下さい」という声援・激励がかえってきた。署名についても、その場で検討し即応してくれる労組、執行委員会にかけて署名され、本部に郵送してくれる労組さまざまですが、すでに9月20日現在で、本部に届いている労組は70団体をこえている。

各地区、地域の労組の仲間の支援に応えるためにも、最後まで頑張ろう。

大会の傍聴に 全力で集まろう

第三の課題は、不当配転者の原職奪還を勝ちとる闘いの強化です。その重要な環として京葉支部、総武支部につづいて、全県下を網らする運転・営業を貫く動労千葉の支部

以上六つの基本的課題を中心に大会を行います。すべての組合員の英知で意議ある大会にしたいこう。

創りあげることです。風はわれわれにとって有利に吹いています。国政、地方選における自民党の大惨敗、地労委闘争における連続する勝利命令、JR総連の内部対立と大量の脱退(馬喰町駅で一挙に十三名が東鉄労から国労に復帰)等。待ちに待った追い風を最大限利用しつつ、主体的力量を強化しながら闘いぬこう。

第四の課題は、組織財政基盤の確立ということですが、その最重要の闘いである物販闘争のさらなる発展・強化を勝ちとるう。

第二の課題は、今秋総評解散と新連合への加盟問題です。連合はただ単に右翼労戦統一という内容にとどまらず、明らかに産業報国会化への道に直結します。だからこそ、結成された反連合・反統一労組懇・全国労組交流センターの役割と意義が重要となっています。交流センター運動の拡大・発展を勝ちとろう。

第五の課題は、二波のストライキで不当にも解雇された二十八名の仲間を原職に奪還する闘いの強化です。裁判闘争を中軸に、現場生産点からの実力闘争を結合させて闘いぬこう。